

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際連合プロジェクト・サービス機関(UNOPS)拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	南部アジア部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始 (継続事業)		担当課室	南東アジア第一課		課長 佐々山 拓也	
会計区分	一般会計		施策名	VII-1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第三項		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国のカンボジア和平への積極的協力は、我が国が初めて平和構築に本格的に取り組んだケースである。我が国は、本件裁判が和平プロセスの総仕上げであることに鑑み、本件裁判の立ち上げ及び実施のために国際社会において主導的な役割を果たしてきている。本件拠出金は、カンボジアにおける正義の達成と同国の今後の発展にとり不可欠な「法の支配」の強化に資するものであり、我が国の平和構築分野での貢献を国際社会にアピールすることができる。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	現在、第1事案(政治犯収容所所長)の最高審判決の確定や第2事案(元国家元首等4名)の初級審開始など裁判プロセスが本格化する一方で、資金不足に直面しており、我が国は裁判目的完遂のため、カンボジア側法廷職員の人件費等の裁判運営経費に係る追加的な支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	0	0	0	0
		補正予算	-	276	314	0	
		繰越し等	-	0	0	0	
		計	-	276	314	0	0
	執行額	-	276	314			
執行率(%)	-	100.00%	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	成果目標:被告5名の判決を出すこと 成果実績:全5件の判決までの進捗を%(累積)で表す。	成果実績		0	1	1	5
		達成度	%	0	20	20	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	活動指標:司法プロセスの進展 (注:実績は、第1事案の完結(捜査~起訴~初審~控訴審の4ステージ)及び第2事案の完結(4ステージ)の計8ステージの中での進捗を%(累積:1ステージ毎に12.5%達成)で表す)	活動実績 (当初見込み)		37.5	62.5	75	-
				100	100	100	( )
単位当たりコスト	司法プロセスはその進展(法的位置づけ)により上記のとおりステージわけ出来るが、それぞれのステージに要する時間とそれに伴う人件費等のコストは、各々の事案の司法判断に要する時間や被告の健康状態等により異なるため、定量的に表すことは困難。なお、あえて単純に1ヵ月当たりのコストを示せば78.5百万円		算出根拠	314百万円÷4ヵ月分=78.5			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	計	0	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	我が国を含めた主要国から構成される運営委員会において事業経費が適切な規模となるよう協議し、また費目・使途が事業目的に則し真に必要なものに限定されるようになっている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	運営委員会で法廷事務局側に裁判日程を提示させ、その達成に向け努力させているが、司法プロセスの進捗は各々の事案の司法判断に要する時間や被告の健康状態等により異なるため、見込みどおりに進展させることは困難な側面もある。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>20世紀の最悪の人道に対する罪の一つとされる クメール・ルージュ(KR)による犯罪をカンボジア自らが国連と協力して裁く本裁判に対し、我が国は本件裁判の成功裡の実施のために拠出するものであり、被疑者の司法プロセスが進む本件裁判への拠出はその目的に合致している。</p> <p>我が国は、本件裁判に果たしてきた役割にかんがみ、裁判目的完遂のため引き続き相応の貢献を行う必要がある。</p> <p>なお今後とも、国連及びカンボジアに対し、各国ドナーからの資金動員にさらに努力するよう要請し、また裁判の全体予算案の圧縮努力や裁判長期化を回避する日程管理の継続を求めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
			—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			—
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	67